

OS交配 ハウス

ZQ-2 ◇促成 8月下旬～11月播き ◇半促成 12～2月播き
ZQ-7 ◇促成 9月～11月播き

ZQ-2・ZQ-7

◎高品質時代の最先端を行くつる下し栽培用品種である。

◎短日、弱光、低温の冬期においても果肥大スムーズで秀品多収を示す。



【特性】

- ZQ-2は早生で初期から収量多い。
- ZQ-7はスタミナがあり芯止まりはせずに総収量多い。
- 果実は濃緑で光沢に優れ、食味・食感抜群。
- 肩コケ、尻太り極めて少なく果揃い良好で店持ちに優れている。
- 灰カビ病、褐斑病に比較的強い。



株式会社

埼玉原種育成会

OS交配

ZQ-2・ZQ-7

特 性

ZQ-2・ZQ-7は徒長しにくく、葉は立性でスッキリと生育し、短日・弱光・低温の冬期においても充実した生育を示す。果肥大スムーズで冬穫り、冬越しのつる下し栽培に最適で高い秀品収量と高品質を持続する。

	ZQ-2		ZQ-7
適作型	8月下旬～11月播き	12～2月播き	9～11月播き
主枝雌花率	40～70%	70～80%	40～70%
茎	太さ、節間共に中位		
葉	濃緑で大きさは中位		
果実	100gで20～21cm 肩部、尻部の整い良く、肩コケ、尻太りが極めて少なく、ボリューム感に富む。濃緑で光沢に優れ、食味・食感・店持ち抜群。		
草姿	葉は水平に展開し、過繁茂になりにくいスッキリとした受光性の良い草姿である。		
草勢	中位	スタミナがあり芯止まりはせず長期栽培型	
収量	果肥大早く、早生で初期収量が多い	果肥大は普通だが総収量多い	
	両品種共に枯死果の発生少なく、シーズン通して秀品多収		
耐病性	灰カビ病、褐斑病に比較的強い		
備考	枯死果の発生が少なく秀品多収を示すので、しっかりとした樹作りが重要		

栽培のポイント

- 定植前、畦立て後、芯土まで十分に湿らせておく。
- 定植後、本葉6枚頃までは、活着を促進するために、晴天ならば株元、株まわりを中心に手灌水する。
- 活着後、本葉12枚頃までは、葉の光沢を持たすよう、土壌と空中湿度を保つため、通路への散水等も行う。
- 本葉12枚から主枝摘芯に至るまでも、水を控え過ぎないように注意し、除々に追肥も始める。
- 主枝果肥大初期より側枝果肥大初期に向けて、水と追肥の増量を考慮する。
- ZQ-2は成り込みが強いので、力枝の開花位置が5節、収穫位置が11節であっても水分が不足すると節間が詰まる傾向となり、後々芯止まりに向かう可能性が高いので、この生育段階より水分補給に注意する。
- ZQ-7はシーズン通じて力枝のつる伸びはスムーズなので、晴天時の午後、夕方（時期によっては前夜半）の温度管理（換気管理）が高め傾向にならないように注意し、充実した力枝の生育を図る。
- 台木は作型、土質、被覆物等を考慮してバランスの良いものを選択する事になるが、特にOS交配 **ゆうゆう一輝黒タイプ**、**オールスター一輝**、**アート一輝**、**ゆうゆう一輝白タイプ**との組み合わせが最も望ましい。



きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県南埼玉郡菟浦町新堀2616
TEL. 0480(85)0854(代)
FAX.0480(85)0407



OS交配種子・発売元
株式会社 **シード**
〒346-0105 埼玉県南埼玉郡菟浦町新堀2616
TEL. 0480(85)7211(代)